農業用ため池の改修による豪雨被害防止

第１次実施中期計画（推進施策）　5か年加速化対策　災害時の効果発揮事例　国土強靭化 NATIONAL RESILIENCE

概　　要：劣化・豪雨・耐震調査により安全率の規定値を下回った防災重点農業用ため池について、令和7年度に堤体改修を完了させたことで、令和8年台風第6号ではため池の決壊は生じず、浸水被害を未然に防止。

対 策 名：12 防災重点農業用ため池の防災・減災対策＜実施中期計画＞【農林水産省】

■ 実施主体：三重県

■ 実施場所：三重県南牟婁郡御浜町

■ 事業概要：地震・豪雨によるため池の決壊及び下流域の浸水被害を防止するため、ため池の堤体、取水施設、洪水吐の改修を実施した。

■ 事業費：4.0億円（令和3～8年度）

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
防災重点農業用ため池緊急整備事業	堤体等の改修	4.0億円	R3～R8
うち５か年加速化対策	堤体等の改修	3.7億円	R3～R7
うち実施中期計画	堤体等の改修	0.3億円	R8

■ 災害の外力、効果：令和8年台風第6号が黒岩池のある御浜町に接近し、日最大1時間降水量71.0mmの災害級の大雨を観測。令和7年度に堤体を改修したことで、ため池の決壊は生じず、想定被害28.6ha、5戸の浸水を未然に防止。

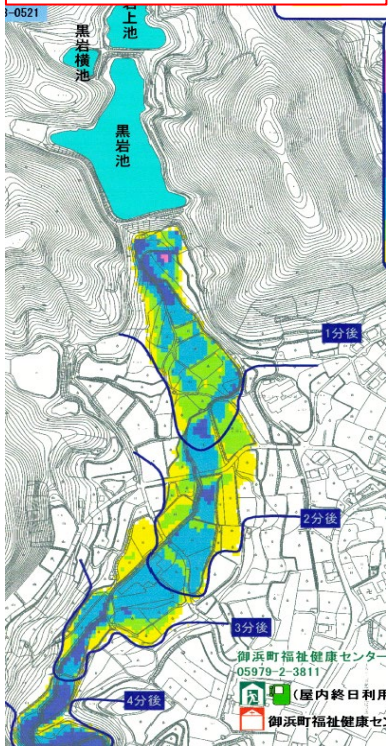
全景　施工前



全景　施工後



黒岩池　ハザードマップ



洪水吐　施工前



洪水吐　施工後



対策による被害防止効果

	想定被害額	想定被害
対策なし（ため池が決壊した場合）	2.8億円	浸水面積　28.6ha 浸水家屋　　5戸
対策あり	被害なし	被害なし

片見谷池の防災工事により農地・住宅等への洪水被害を回避する

5か年加速化対策
災害時の効果発揮事例

国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

概　　要：令和8年台風第6号による豪雨で、印南観測所にて最大時間降水量31mmを観測したが、和歌山県内の農地や農業用施設が被災した一方、「片見谷池」は防災工事を実施したことにより、安全に排水することができ、ため池の決壊及び下流域への洪水被害を回避した。

対 策 名：2 防災重点農業用ため池の防災・減災対策＜5か年加速化対策＞【農林水産省】

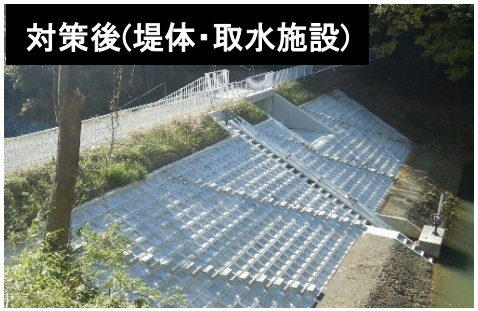
■ 実施主体：和歌山県

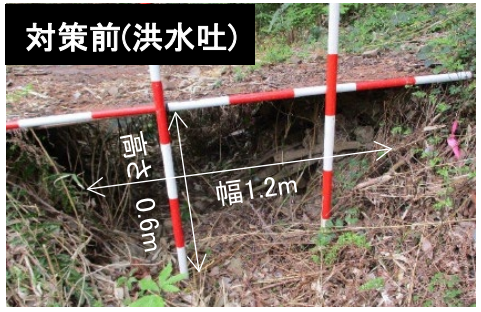
■ 実施場所：和歌山県日高郡印南町

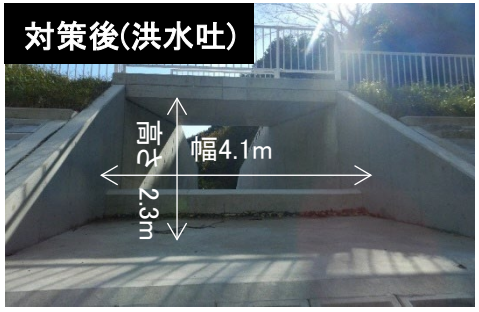
■ 事業概要：劣化や豪雨等の対策を要する防災重点農業用ため池の決壊防止のため、防災工事（堤体、取水・緊急放流施設、洪水吐）を実施した。
・漏水量： 63.38ℓ/s/100m ⇒ 0ℓ/s/100m
・洪水吐流下能力： 0.84㎥/s ⇒ 4.04㎥/s

■ 事業費：1.27億円（令和2年度～令和5年度）
（うち5か年加速化対策（加速化・深化分）0.71億円）





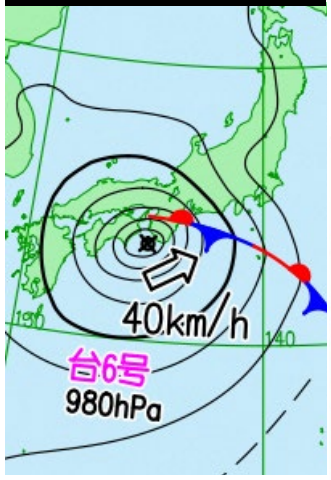




■ 災害の外力、被害と効果：
令和8年台風第6号による大雨が降り、印南観測所にて最大時間降水量31mmを観測したが、「片見谷池」防災工事が完了したことにより、洪水吐※の流下能力が向上し、安全に排水することができ、下流域への洪水被害を回避できた。

※洪水吐：ため池に流入した雨水を安全に排水させ堤体の決壊を防ぐための施設

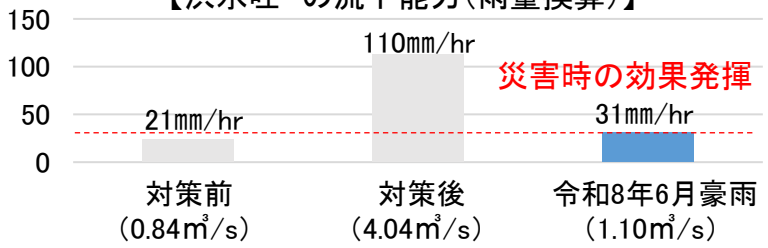
令和8年6月3日3時 天気図

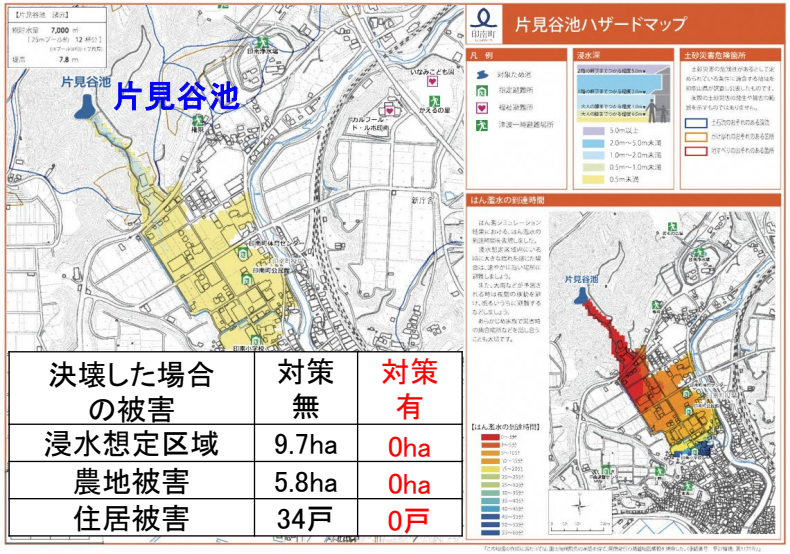


印南観測所（印南町）

最大時間降水量	最大24時間降水量
31mm	153mm

【洪水吐※の流下能力（雨量換算）】





決壊した場合の被害	対策無	対策有
浸水想定区域	9.7ha	0ha
農地被害	5.8ha	0ha
住居被害	34戸	0戸

奈路1号池の豪雨対策工事により決壊被害を回避

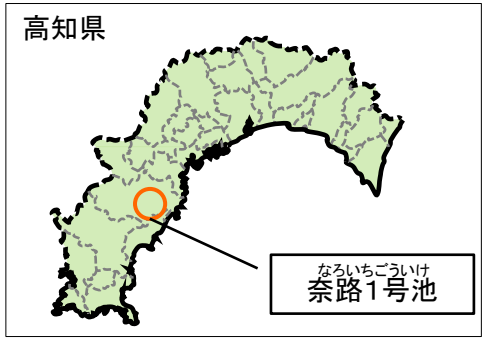
5か年加速化対策
災害時の効果発揮事例
国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

概　　要：「奈路1号池」は、洪水吐の能力が不足しており、豪雨耐性がないことが判明したため、豪雨対策を実施。令和8年台風第6号では24時間降水量400mmを超える豪雨を観測したが、決壊を回避し、浸水被害を防止した。
対 策 名：2 防災重点農業用ため池の防災・減災対策＜5か年加速化対策＞【農林水産省】

- 実施主体：高知県
- 実施場所：高知県高岡郡四万十町
- 事業概要：ため池の決壊防止のため、堤体の豪雨対策工事を実施し、洪水吐の流下能力を強化した。
- 事業費：7.1億円
  （うち5か年加速化対策（加速化）1.3億円）

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
ため池改修事業	洪水吐工（堤体工含む）	約7.1億円	H29～R8
うち５か年加速化対策	洪水吐工（堤体工含む）	約1.3億円	H29～R6

- 災害の外力、被害と効果：令和8年台風第6号に伴い、四万十町では24時間降水量が400mmを超える豪雨となったが、豪雨対策工事を実施したことで、当該施設は決壊することなく、下流域の被害を未然に防止することができた。

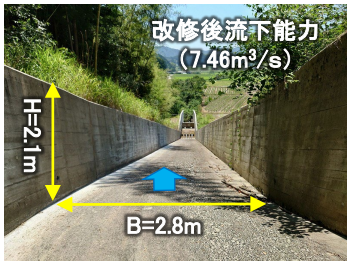




【対策前】
豪雨耐性なし

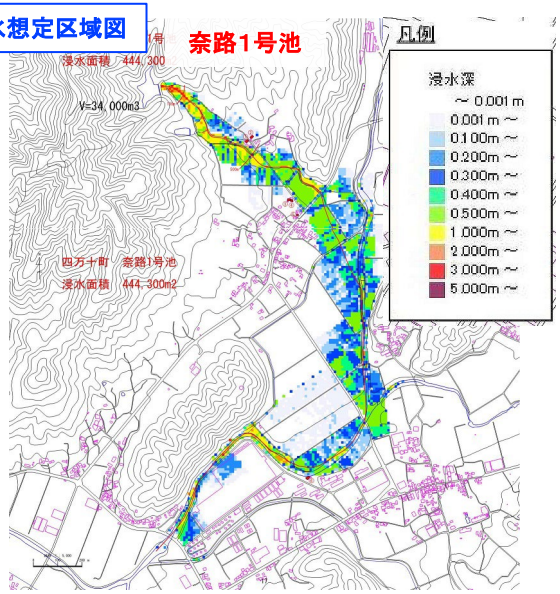


【対策後】
豪雨耐性あり



堤体の決壊を防止し、下流の被害を回避

浸水想定区域図



約5.6億円の想定被害を回避

【対策なし】 想定被害額5.6億円
【対策あり】 0億円

（想定被害額内訳）
作物・農地　1.8億円（田、畑：A=45ha）
農業用施設　1.7億円（農道、水路：L=3,500m）
家屋　0.2億円（6戸）
公共施設等　1.9億円（県道等：L=550m）

納所（のうそ）ため池の改修工事による決壊被害の防止

5か年加速化対策
災害時の効果発揮事例

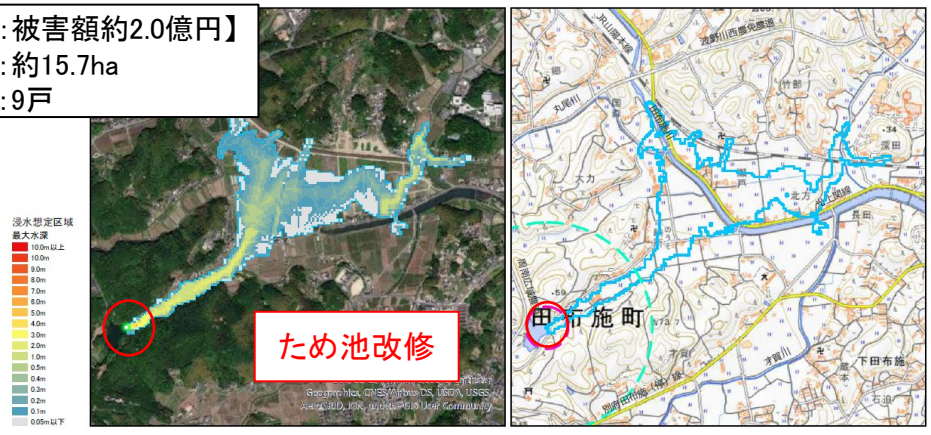
国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

概　　要：防災重点農業用ため池の堤体及び洪水吐の改修により、令和8年6月24日からの大雨において総降水量354mmを観測したものの、ため池の決壊は生じず、下流域の農地や住宅への浸水被害を防止した。
対 策 名：2 防災重点農業用ため池の防災・減災対策＜5か年加速化対策＞【農林水産省】

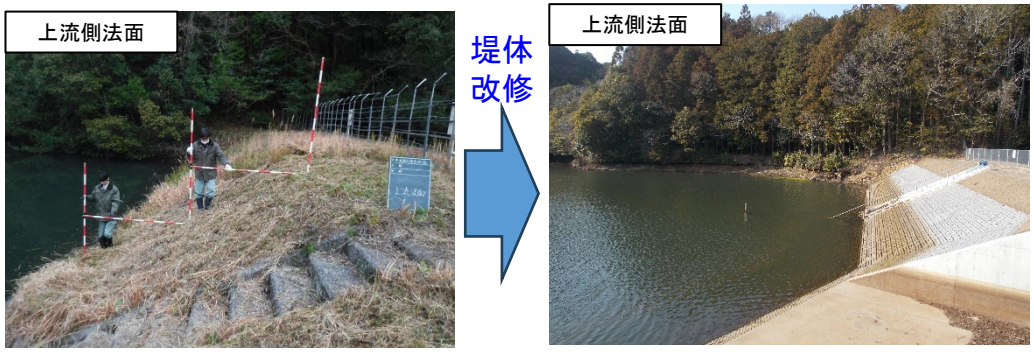
- 実施主体：山口県
- 実施場所：山口県熊毛郡（くまげ）田布施町（たぶせちょう）
- 事業概要：決壊による被害を未然に防止するために、納所ため池の洪水吐の流下能力の向上と堤体の改修を実施。
- 事業費：1.6億円（令和5年度）
  （うち5か年加速化対策（加速化・深化分）0.8億円）
- 災害の外力、被害と効果：
  令和8年6月24日から26日にかけて、田布施町では記録的な大雨となる総降水量354mm（柳井（やない）観測所）を記録したものの、改修したため池は洪水吐の流下能力が大幅に強化されたため、ため池の決壊を防ぎ、ため池下流の農地や住宅への被害を防止した。

決壊が生じた場合の想定被害区域

【被害想定：被害額約2.0億円】
・浸水面積：約15.7ha
・浸水家屋：9戸



堤体改修による安全性の確保



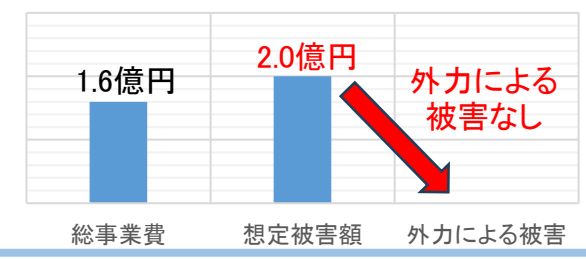
洪水吐改修による流下能力の確保



被害低減効果

ため池改修により、決壊した場合に想定される被害（想定被害額約2.0億円※）の発生を防止

※想定被害範囲内の農地・農業用施設、家屋への被害額を推計



排水機場除塵設備の更新による湛水被害等の未然防止

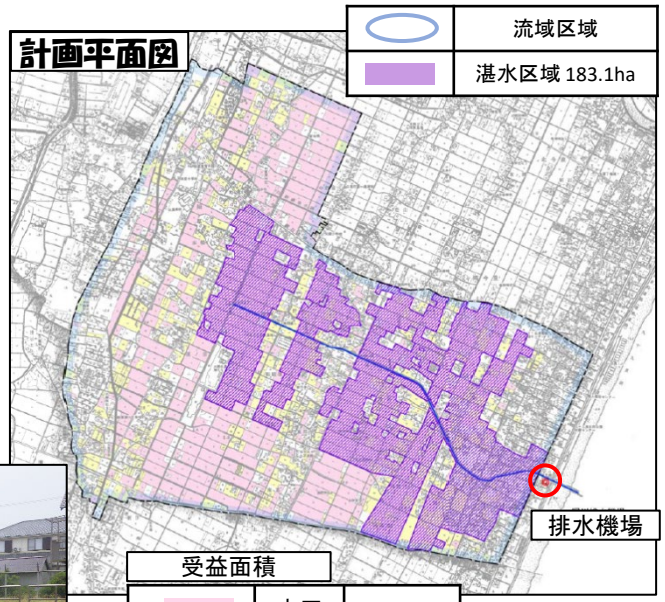
5か年加速化対策
災害時の効果発揮事例

国土強靱化
NATIONAL RESILIENCE

概　　要：老朽化した排水機場除塵設備を更新し、施設の長寿命化及びライフサイクルコストの低減を図ったことにより、令和8年台風第7号、第8号では農地の湛水被害及び道路の冠水被害を未然に防止した。
対 策 名：91 農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策＜5か年加速化対策＞【農林水産省】

- 実施主体：千葉県
- 実施場所：千葉県大網白里（おおあみしらさと）市
- 事業概要：昭和59年～昭和61年度に整備された排水機場の除塵設備について、老朽化に起因する故障により大雨時に湛水被害等が生じる恐れがあったため、更新工事を実施した。
- 事業費：約3.1億円
  （うち5か年加速化対策（加速化深化分）2.5億円）
- 災害の外力、被害と効果：令和8年台風第7号、第8号では、近接する茂原観測所にて1時間降水量42.5mmを記録したが、事前に整備した排水機場除塵設備により排水機能が確保され、受益面積463.3haの湛水被害及び道路の冠水被害を未然に防止することができた。なお、近年の突発的な大雨においても、排水機場の稼働時に一斉に流入するごみや異物が安定的に取り除かれることで排水機能が確保され、周辺地域の農業経営の安定が見込まれる。

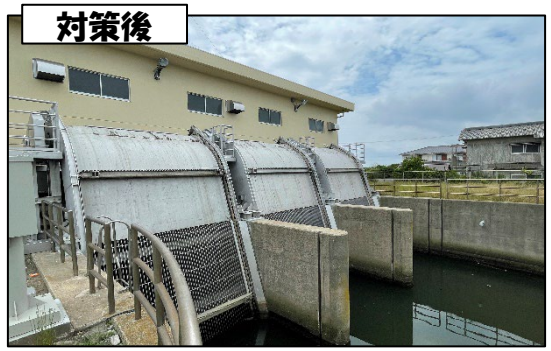




受益面積		
	水田	291.9ha
	畑	171.4ha
合計		463.3ha







【排水機場除塵設備】
排水ポンプ流入部に設置したスクリーンの前面に堆積した塵芥（ごみ）を機械的に掻き上げ除去する装置。

適切な森林整備の実施による土砂災害等の防止

5か年加速化対策
災害時の効果発揮事例
国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

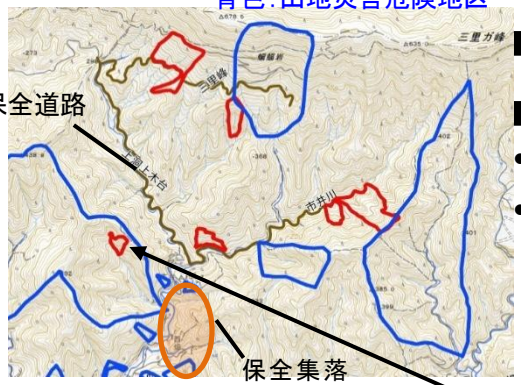
概　　要：和歌山県みなべ町内の山地災害危険地区周辺の森林において、森林整備事業を実施。対策実施箇所では、令和8年6月24日からの大雨に際しても森林の山地災害防止機能等により、土砂流出等の被害は発生しなかった。
対 策 名：4 山地災害危険地区等における森林整備対策＜5か年加速化対策＞【林野庁】

■ 実施主体：JiroBayForestry株式会社

■ 実施場所：和歌山県日高郡みなべ町



赤色：森林整備箇所
青色：山地災害危険地区



■ 事業概要：約16haの森林整備を実施
森林の山地災害防止機能等を確保するため、約16haの森林において間伐を実施することで、林内に十分な光が届くよう改善し、残存木の成長及び下層植生の繁茂を促した。

■ 事業費：約550万円（R7年度）（うち5か年加速化対策：約550万円）

■ 災害の外力、被害と効果
- 令和8年6月24日からの大雨で、みなべ町では24時間降水量135mmを観測。
- みなべ町内においても土砂流出などの被害が発生したが、適切な森林整備を実施した本対策箇所では、山地災害防止機能等により、住宅や道路への土砂流出や倒木等の被害は発生しなかった。

間伐により光が林内に差し込むことで、樹木や下層植生の成長を促し、山地災害等に強い森林へ誘導

みなべ町内の被害



整備前



整備後



災害対策資機材を活用した救出救助活動

3か年緊急対策　5か年加速化対策

災害時の効果発揮事例

国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

概　　要：令和8年6月24日からの大雨において、山口県警察では、3か年緊急対策及び5か年加速化対策により整備した災害対策資機材を活用し、被災者の救出・救助を実施した。

対 策 名：34-1 警察における災害対策に必要な資機材に関する対策＜5か年加速化対策＞【警察庁】

■ 実施主体：警察庁、山口県警察

■ 実施場所：山口県熊毛郡平生町（くまげ　ひらおちょう）

■ 事業概要：災害時における救出救助活動等の警察活動を適切に行うため、災害対策に必要な資機材（※）の整備を実施。

（※） 今回使用された資機材は、災害活動用ヘルメット、災害活動用ヘッドライト、災害活動用ゴーグル、災害活動用プロテクター、広域緊急援助隊用活動服、災害救助活動用バックホウ

■ 事業費：約4.1億円（平成30年度及び令和4年度）
（うち3か年緊急対策：約3.1億円、5か年加速化対策：約0.2億円）

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
災害対策に必要な資機材の整備		約4.1億円	H30、R4
うち3か年緊急対策	災害活動用装備、災害救助活動用バックホウ	約3.1億円	H30
うち5か年加速化対策（加速化・深化分）	災害活動用装備	約0.2億円	R4

■ 災害の外力、被害と効果：令和8年6月24日からの大雨においては、中国地方の広い範囲で大気の状態が非常に不安定な状況が続き、山口県の一部地域では、最大72時間降水量が6月の観測史上1位となった。大雨の影響により、山口県熊毛郡平生町では土砂崩れ等が発生する中、山口県警察の広域緊急援助隊は、3か年緊急対策及び5か年加速化対策により警察庁から配備された災害対策資機材を活用し、被災者を救出・救助した。

災害対策資機材を活用した救出・救助活動





災害活動用防護ヘルメット、災害活動用ヘッドライト、災害活動用ゴーグル、災害活動用プロテクター、広域緊急援助隊用活動服を着用



災害救助活動用バックホウ